



第 431 号 平成 26 年 6 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

第65回指定都市学校保健協議会に参加して

会 長 林 鐘 声

横浜市学校保健会と教育委員会が主催で 5 月 25 日（日）に横浜市で開催されました。第 1 回は昭和 25 年、京都市の開催で始まっています。今回、20 政令指定都市の 400 人を超える学校保健関係者が参加しました。

24 日（土）には横浜市医師会主催の学校医研修会が参加者 200 人余りで行なわれ、私達も出席しました。眼科、耳鼻科の話題が中心の研修会のあと、日本スポーツ振興センター（J S C）理事長河野一郎氏による「学校安全・災害共済給付事業の現状と予防対策」の特別講演がありました。ちなみに J S C は国立競技場の管理運営をしている関係から、オリンピックにまつわって露出度は高くなっていて、特に理事長の河野一郎氏は新国立競技場の建設をめぐる渦中の人となっています。

平成 25 年度は、災害共済には全国の児童生徒の 96 % に当たる 1720 万人が加入し、給付額は 186 億円、給付件数は約 210 万件と 8 人に 1 人は給付対象となっていました。捻挫・打撲・骨折などが多く占めているとはいえ、驚くほどの件数です。学校管理下の死亡は平成に入ってから減少が続き、平成 25 年度では 63 件、突然死は 23 件と、昭和 60 年の 242 件、113 件と比べて大幅に減少していますが、小学生 < 中学生 < 高校生に多く、午前中に多いのは変わらない傾向のままでした。突然死の減少に、学校心臓検診や A E D の普及の影響について言及のなかったのは、個人的には残念でした。熱中症や頭頸部外傷は体育活動とくに運動部活動中に多く発生しており、競技による特徴を踏まえた上で注意すれば、予防可能となる例は多いようです。とくに、熱中症では、競技種目を問わず、約半数は「ランニング・ダッシュ」後に発生しているのをみると、指導者への教育研修が十分に行き渡っていないことの何よりの証左と考えら

れました。平成 28 年には運動器検診が始まり、運動部員が運動器のトラブルを多く抱えていることが明らかとなってくると思います。運動部の指導者への研修をより充実させる取組みも併わせて必要と思います。J S C は事故防止を図り給付件数の減少のために、どのような活動をしているのかが判らないまま、講演は終了しました。

25 日（日）は、教育委員会、学校薬剤師会、養護教諭部会及び私達の 6 人を含めて、京都市から 25 人が全体協議会、記念講演会、課題別協議会に出席しました。

記念講演は日本体育大学教授、神奈川県教育委員会教育委員長の具志堅幸司氏による「本気になれば何かが変わる－指導者として・選手として－」でした。その内容については来月号で報告します。

「望ましい生活習慣を自ら身につけ、心豊かで健やかな体を育むために－学校保健の推進と子どもたちへの支援－」を主題として課題別協議会は 4 分科会に別れて実施されました。その詳細は各分科会出席者より報告をして頂きます。私が出席した第 1 分科会では、私の校区の大将軍小学校における歯科保健に関する発表を養護教諭が行いました。京都市が実施しているフッ化物洗口に 2 つの政令指定都市から質問が出たのには、今更という感がありました。また、指導助言者の精神科医の「人に迷惑をかけないのであれば薬物使用はよいと考える人は人口の 5 % いる。この人達が薬物乱用者の予備軍であり、予防的な教育が必要。」「薬物乱用者に共通するのは自尊意識が低いことである。」は印象に残る発言でした。

来年の 5 月 16 日（土）には名古屋市学校医会による学校医懇談会が、17 日（日）には第 66 回協議会が名古屋市で開催されます。内容が決定しましたら、改めて広報致します。

新 任 校 医 挨 拶



紀 優 子
(嵯峨小学校)

この度、嵯峨小学校の校医をさせていただきますことになりました、

紀 優子と申します。

平成25年6月にきの小児科医院を開院いたしました。診療科は小児科，アレルギー科，漢方内科です。小児科専門医として子供たちの健康を守るため日々診療をさせていただいていますが，同時に東洋医学，漢方処方による健康の維持に関わっていきたいと思っています。

「未病を治す」という言葉は東洋医学の言葉ですが，先日学校医として全校生徒に対する健診を初めてさせていただき，健診とは予防医学の第一歩だと痛感した次第です。

子供たちの心と体の健康を守るため，地域の方々の健康維持のため，微力ながらお役に立ちたいと考えております。

今後ともご指導，ご鞭撻のほどよろしく願います。



西 川 昌 樹
(桃陵中学校)

2014年4月1日より，伏見区桃陵中学校の校医に就任しました。

現在伏見区六地藏駅近くにて内科・循環器科を開業しています。いつの間にか高齢者になりましたので，校医を勧められた時辞退したかったのですが，医師会の勧めに従いました。

以前短期間ですが，日野小学校での経験もあり，ある種の懐かしさを覚えます。小学校入学前検診にて，ある女兒が「ケンシンで何がわかりまちゅか？」と質問をくれました。「心臓やおなかの中に良くないことが無いか見るんですよ」検診後「何かわかりまちゅか？」つぶらな眼差しでした。現在高校生くらいでしょうか？このような生徒さんに再会したいと思います。



榎 堀 徹
(山科中学校)

平成26年4月から山科中学校の校医をさせていただきますことになりました。

昭和58年に滋賀医科大学を卒業し，同附属病院，京都桂病院，洛和会音羽病院で呼吸器外科，呼吸器内科を中心に勤務しておりました。平成25年4月に山科区音羽に，えのきぼり医院を開設し，5月1日から開院させていただきました。

学校医は初めてですが，教職員の皆様方と連携して，子供たちの健康，成長の助けとなるよう努めて参ります。今後ともご指導，ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



金 井 伸 行
(大淀中学校)

平成26年4月より大淀中学校の校医を拝命いたしました。

平成11年に京都大学医学部を卒業し，平成19年5月より伏見区淀にて金井病院理事長，金井クリニック院長として地域医療に従事しております。校医業務は今回が初めての経験になりますが，学校の先生方と協力し，地域の子供たちの健康管理に微力ながらお役に立てるよう，精一杯努力してまいる所存です。学校医会の諸先生方にはご指導賜りますようお願い申し上げます。



若 泉 克 次
(二の丸北小学校)

平成26年4月より二の丸北小学校の校医をさせていただきますことになりました。平成25年4月より向島の若泉小児科医院で副院長として勤務しております。校医は初めての経験で不安もたくさんありますが普段から診察をしている顔なじみの児童もたくさんおり，少し楽し

みでもあります。至らないこともありご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、学校の先生方としっかり連携をとって少しでも地域医療に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



鶴海 博
(鳳徳小学校)

平成26年4月より京都市立鳳徳小学校の校医をさせて頂くことになりました鶴海 博と申します。

私は昭和60年に京都府立医科大学卒業し21年間の勤務医生活の後に、平成17年から北区で開業しております。普段は成人の方の診察がほとんどで、また校医業務も初めてですので至らない点が多々あると思いますが先輩の先生方のご指導を仰ぎ、少しでも学校保健、地域医療に貢献できるように努力していく所存です。

学校医の先生方には今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願申し上げます。



武田 靖
(醒泉小学校)

平成26年4月より醒泉小学校の校医をさせて頂くことになりました。平成23年植柳小学校廃校まで努めさせて以来です。私自身も近くの小学校を卒業し近辺いずれの学校も大変似た環境で何処も懐かしい感があります。

私は平成2年京都大学卒業後、国立京都病院、本学第一内科、京都警察病院(現非常勤)勤めさせていただいた後、祖父からの診療所を妻と二人三脚で内科小児科と診せていただいています。近隣病院や諸先生方にはお世話になること多く常感謝しております。表に出たくない心情もありますが会のお役に立てるのも幸いと感じお引き受けいたしました。今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願申し上げます。

第65回 指定都市学校保健協議会 課題別協議題 第1分科会報告(健康教育)

福西小学校校医 奥村 正治

この分科会は健康教育をテーマに行なわれるので、協議題・主旨・協議の視点等は健康教育のあり方、健康教育の進め方、医療機関等の連携による効果的な健康教育の推進となっている。

5人の演者でした。

・新しい学校薬剤師の役割

ーアメリカでの薬物乱用防止教育を中心にー

横浜市学校薬剤師部会 副部会長 山崎 健

・発達障害児への対応について

名古屋市立高坂小学校 学校医 松川 武平

・豊かな健康観をもち、たくましく生きる子どもの育成 ーめあてのめあせ方における指導の工夫を通してー

福岡市立塩原小学校 指導教諭 小林 信太郎

・自分の歯と口に関心を持ち、生きる力につなぐ健康教育

京都市立大將軍小学校 養護教諭 土井 早苗

・バランスのとれた心とからだづくり

ー正しい姿勢の定着を目指した姿勢指導の取組ー
神戸市立雲中小学校 養護教諭 仁科 奈保美

ちょうど京都から演者がおられましたので、少し加えさせていただきます。

視覚教材、提示教材を使用し、導入部分、ふり返り部分を作って、小学生なりの興味をもたせた。6月・11月に「はみがき週間」を作り1時間の歯みがき学習をもった。又、年3回ではあるが、フレンドリーグループ(縦割りグループ)で給食を食べてい

るので、その後、高学年から低学年に効果的な歯みがき指導が出来た。1年生には、休日参観日を利用し、親子歯みがき教室も開き、歯科衛生士の指導のもと「仕上げみがき」の実習を行なっている。児童保健委員会では、「はみがき啓発ポスター」を作り、「歯に関するクイズラリー」「歯の健康カルタ大会」を子供達で実施した。併せて、「食に関する指導・咀嚼について」「歯の図書の整備」、保護者・地域への広報として、「保健だより」や「学校ホームページ」等々行なわれた様でした。

この結果、生活習慣の改善がみられた様です。「朝、自分で規則正しく起きる」「食べ物をよく噛んで(30回くらい)食べる様になった」「清涼飲料水を毎日飲まない」「食べ物の好き嫌いが少なくなった」等々です。

しかし、う歯の本数は年々減少していい結果につながっているが、京都市平均を上回っている点等、まだまだ努力が必要という点もみのがせない。この習慣が、中学生になってくずれやすくなるので、その点もどうするかが今後の課題と思われます。

第 2 回 常任理事会

平成26年6月7日
於 事務局

出席者 林会長、竹内・井本副会長、杉本専務理事、東道・山内各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村副議長、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 5/13
2. 京都市中学校春季総合体育大会
ラグビーフットボール 5/17 奥村先生
3. 京都市学校保健会常務委員会 5/17
4. 心臓相談(水中心電図) 5/21
5. 第63回 指定都市学校保健協議会
5/24~25 (横浜)
林・奥村・長村・井本・竹内・杉本・鈴木・柏井先生参加
6. その他
養護教諭パワーアップ研修会
8月4日(京都アスニー)
講師を山下 琢先生に依頼

<協議事項>

1. ツベルクリン反応検査出務医について
2. 平成26年度 三師会・各懇談会
日程・協議内容について
3. 第36回 近畿学校保健連絡協議会について
林・奥村先生出席
4. 第14回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会について
5. 会誌について(締切:6月末)
6. その他

<関連学会・各種協議>

1. 第30回京都府歯科保健文化賞 6/8
2. 色覚相談 6/10, 6/17
3. 精神衛生研究会 6/12
4. ツベルクリン反応検査 接種6/16, 判定6/18
於:京都市学校医会会議室
5. 京都市学校保健会理事会・評議員会 6/17
於:新・都ホテル
6. 京都市学校保健会新旧会長歓送迎会 6/17
於:新・都ホテル
7. 食物アレルギー・アナフィラキシー研修会
6/20 14:15~ 於:京都シルクホール
8. 三師会 6/21 18:00~ 於:ラ・ロカンダ
9. 西京支部会 6/22
10. 京都市教育委員会との懇談会 6/28
17:30~ 於:要庵 西富家
11. 第2回 常任理事会 7/5 14:00~
12. その他

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

第14回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会

日時：平成26年7月26日（土） 15：00～17：30

場所：こどもみらい館 4階 第1研修室

住所：京都市中京区間之町通竹屋町下る 楠町601番の1

TEL 075-254-5001 FAX 075-212-9909

《プログラム》

—15：00～15：05— 開会のご挨拶 小児科医会

特別講演Ⅰ —15：05～16：15—（講演60分、質疑10分）

座長 京都第一赤十字病院 小児科部長 木崎 善郎 先生

『SGA性低身長症の早期発見・早期治療のために』

上京保険センター 担当係長 徳弘 由美子 先生

特別講演Ⅱ —16：15～17：25—（講演60分、質疑10分）

座長 京都府立医科大学大学院医学研究科

小児発達医学 准教授 森本 昌史 先生

『子どもの自尊感情を育てるには ～学校と家庭における工夫～』

山陽学園大学 総合人間学部 生活心理学科

教授 近藤 卓 先生

—17：25～17：30— 閉会のご挨拶 京都市学校医会 奥村 正治 先生

*日本小児科学会専門医3単位、

日医生涯教育講座 ①単位：2.5時間2.5単位、

②カリキュラムコード：5医師—患者関係とコミュニケーション、6心理社会的アプローチ、
12保健活動、72成長発達の障害、82生活習慣

京都府医師会指定学校医制度更新取得単位 1単位、

子どもの心相談医研修単位 2単位。

*参加料は無料です。

共催：京都小児科医会、京都市学校医会、ファイザー株式会社